

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三朝町立三朝小学校新築工事	階数	地上3F
建設地	鳥取県東伯郡三朝町本泉480-5他	構造	RC造
用途地域	防火地域指定なし	平均居住人員	500人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,300時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2022年6月17日
敷地面積	13,163㎡	作成者	山下 愛子
建築面積	3,155㎡	確認日	2022年6月17日
延床面積	6,579㎡	確認者	湯本 藤雄



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
外部から使用する部屋はセキュリティなどを考慮して柔軟に対応できる配置とした。	0
Q1 室内環境 カーテンと庇で外部からの昼光を抑制するようにした。	Q2 サービス性能 ユニバーサルデザインを意識した機能性豊かなデザインとした。
Q3 室外環境 (敷地内) 地域制に配慮した環境とした。	
LR1 エネルギー ヒートポンプ・LED照明器具の採用など省エネルギー性能向上を意識している。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具を採用し水資源確保に努めている。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 削減に努めている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される